

え すがた おく
絵姿奥さん

再話(さいわ) : 高橋 宗子 (たかはし そうこ)
挿絵(さしえ) : 霧生 さなえ (きりう さなえ)
監修(かんしゅう) : NPO法人日本語多読研究会(にほんご たどく けんきゅうかい)

日本語を勉強しているみなさんへ

「にほんごよむよむ文庫」は、

日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。

楽しみながらたくさん読んでください。

わかるものをたくさん読むと、知らないうちに漢字の読み方や言葉が身につきます。

読んだ話をCDでも聴いてみてください。読みながら聴いてもいいですよ。

目からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょう！

「にほんごよむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないところは飛ばして読む。
- 4 進まなくなったら、他の本を読む。

あるところに、男の人と、

その奥さんが住んでいました。

奥さんは、とてもきれいな人でした。

男は、このきれいな奥さんが大好きでした。

毎日、奥さんの顔を見て、

「きれいだなあ、きれいだなあ」

と、言っていました。



男は、結婚する前は、よく働きました。

でも、結婚してからは、毎日、毎日、

家で奥さんを見ていました。全然働きません。

奥さんは、とても困りました。



それから、毎日、畑に行くと、

野菜や米を作りました。

男は、少し働いて、

奥さんの絵を見ます。

「きれいだなあ」

また、少し働いて、絵を見ます。

「きれいだなあ」

いつも奥さんの絵と一緒にです。

ある日、奥さんは、紙に絵を描いて、

男に渡しました。そして、言いました。

「これは、私の顔の絵です。この絵を

畑に持って行って、働いてください」

男は、畑に行くと、その絵を木の枝につけました。



ある日、男が畑で働いていると、強い風が吹きました。

ヒューッッ！

「あ、大変だ！」

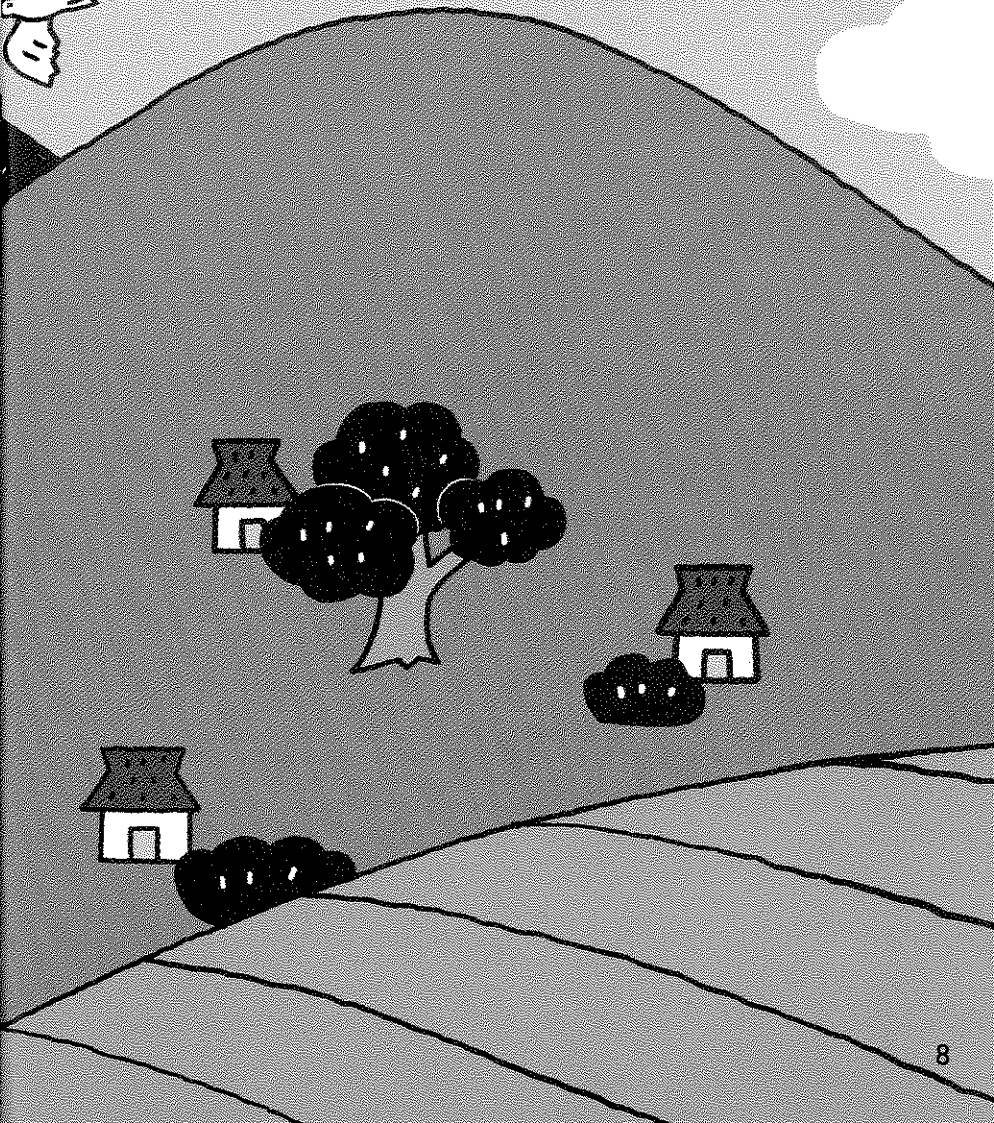
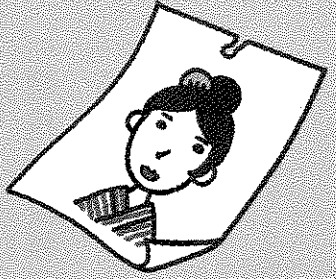
男は、大きな声を出しました。

絵は空高く飛んでいきます。



ひゅーっ
ひゅーっ
ひゅーっ
ひゅーっ
ひゅーっ

絵は、
遠くへ遠くへと
飛んでいきます。



奥さんの絵は、殿様の城の庭に飛んでいきました。

庭にいた殿様が、飛んできた絵を見ました。

「きれいな人だなあ」

殿様は、家来に言いました。

「この人をすぐここに連れてきなさい！」



それから、家来は毎日、その絵を持って、たくさんの方に村に行きました。

そして、村の人に、

「この絵の女はどこだ？ どこにいる？」

と聞きました。

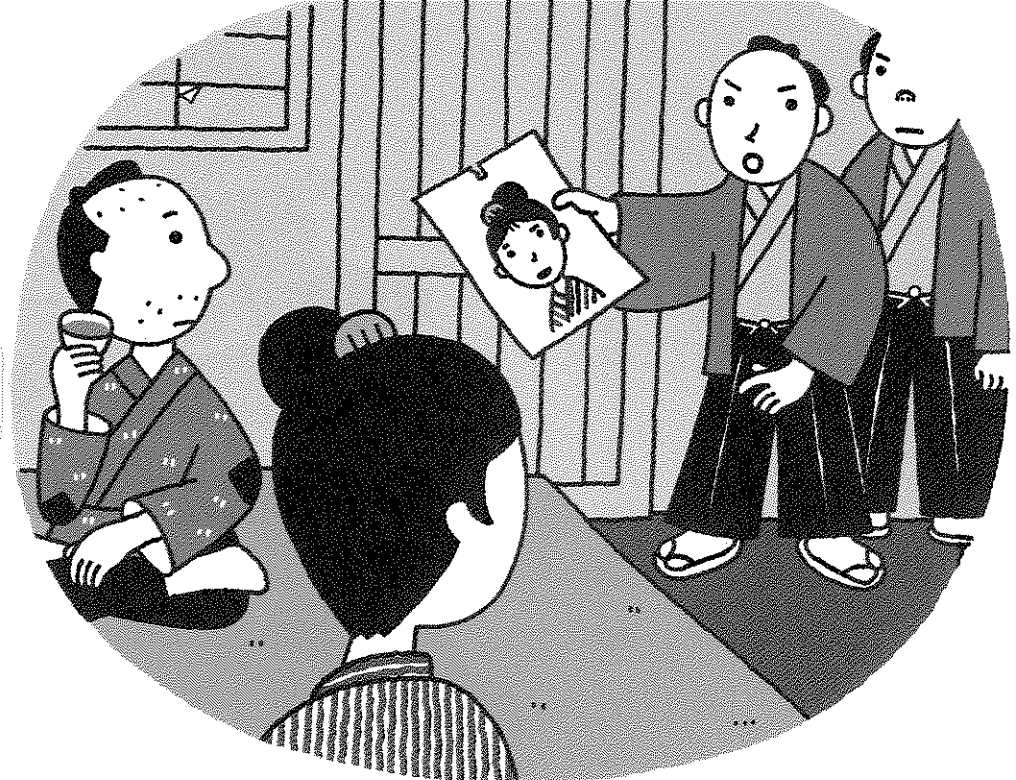
でも、だれもわかりません。



家は、奥さんを
城へ連れていきました。

「この種を植えてください。
三年後に桃ができます。殿様の
城にそれを売りに来てください」

「だめだ。今すぐ来なさい」
奥さんは、急いで男に桃の種を
渡しました。
「私は行きたくありません」
でも、家は言いました。



ある日、男の家に家来が来ました。
そこには、絵と同じ顔の女の人が
いました。

「あ、この女だ！」

家来は、奥さんに言いました。

「城で殿様が待っている。

すぐに城に来なさい」

男と奥さんは、びっくりしました。

奥さんは言いました。

「嫌です。」

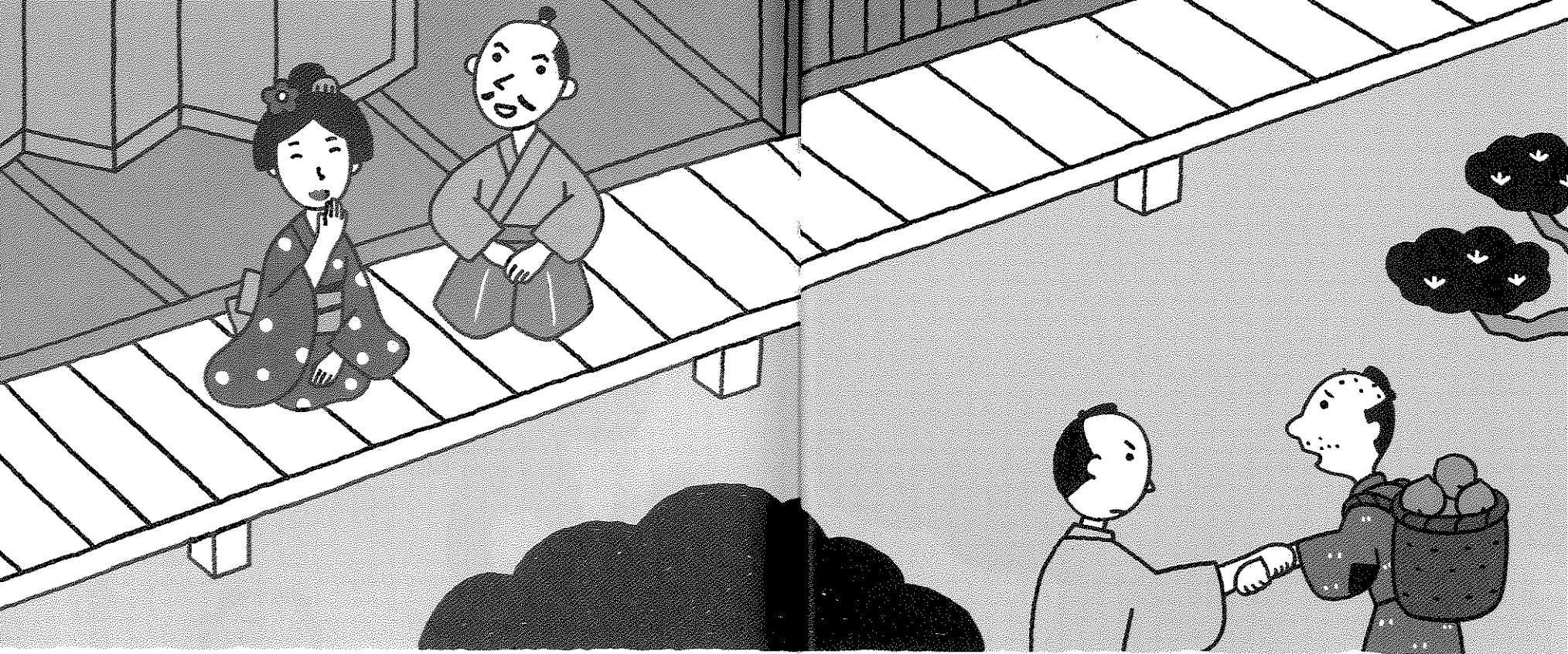


おおもも
大きな桃ができました。

おとこ おく
男は、奥さんがいなくなつて、
とても悲しいです。
でも、おくさんからもらつた
桃の種 たね う
を植えて、毎日、毎日、
みず
水をやりました。

さんねんご
そして三年後……。





男は、その桃を持って、

殿様の城に行きました。そして、

「もも、おいしいもも」

と、大きな声で言いました。

城にいた奥さんは、この声を

聞くと、大きな声で笑いました。

「あはははは……」

殿様は、びっくりしました。

そして、うれしくなりました。

奥さんは、城に来てから三年間、

一回も笑わなかったからです。

殿様は、

「あの桃を売っている男を

連れてきなさい」

と、家来に言いました。

家が男を連れて、城の庭に入ってくると、殿様は、「いいで、もう一回言いなさい」と言いました。

男は、前よりもっと大きな声で、

「もも、おいしいもも」

と言いながら、庭を歩きました。

「あはははは……」

奥さんは、前よりもっと大きな声で笑いました。

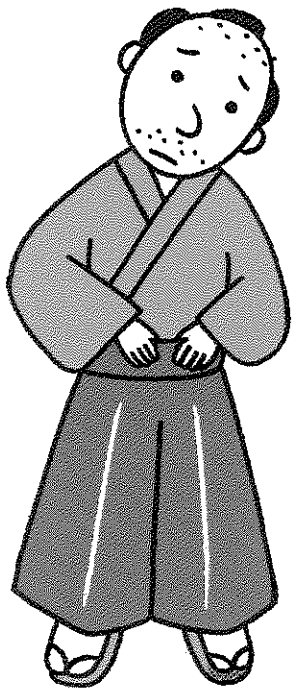
殿様は、それを見て、とてもうれしくなりました。



「おい、次は私がする」

殿様は、男の着物を着ました。

男は、殿様の着物を着ました。



殿様は、桃を持つと、

「もも、おいしいもも」
と、大きな声で言いました。

「あはははは……」

奥さんは、前よりもっともっと笑いました。

殿様は、それを見て、もっともっと
うれしくなりました。そして、

「もも、おいしいもも」

と言いながら、外へ出ていきました。



すると、門のところには

家来が、

「汚い男だ。」

城の中に入ってはいけない

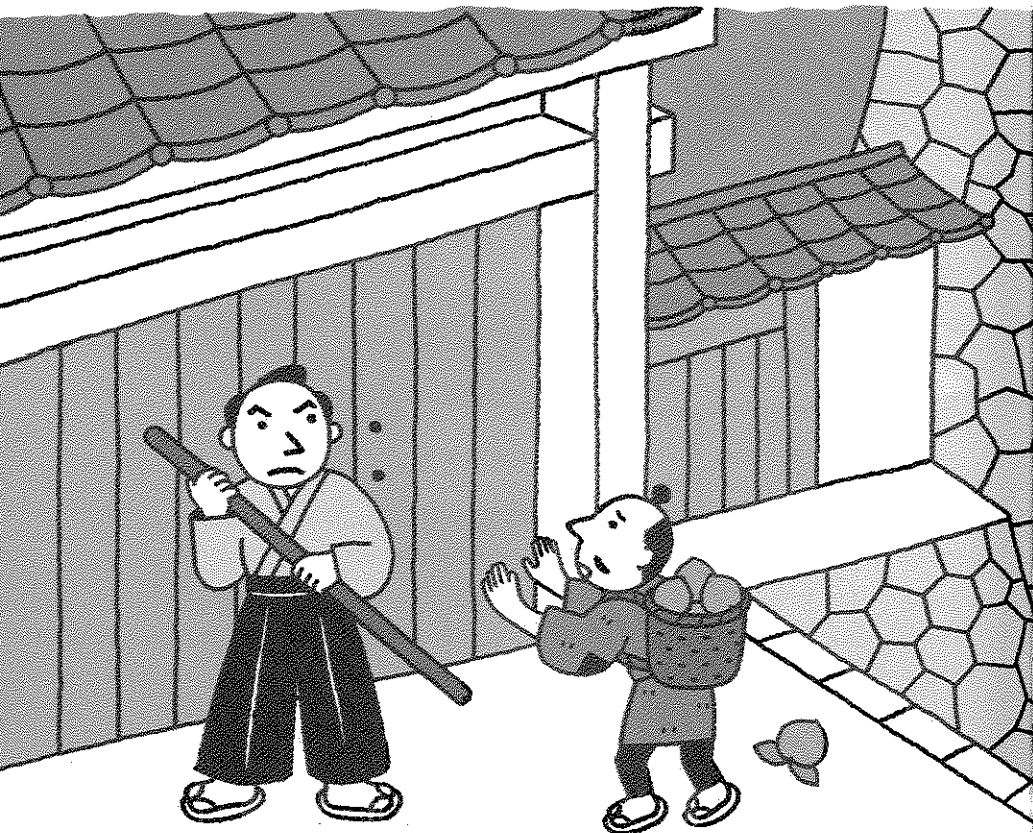
と言つて、門を閉めました。

汚い着物を着た殿様が、

「私は殿様だ！」

と何回言つても、家来は、

門を開けませんでした。



<監修者紹介>

NPO法人 日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

当研究会は、学習者のための「読みもの」を作ることを目的に、2002年1月に発足した日本語教師の集まりです。2006年9月にNPO法人になりました。「レベル別読みもの」を開発したり、それらを使った「多読」授業の実践・研究をしています。http://www.nihongo-yomu.jp/

レベル別日本語多読ライブラリー (にほんごよむよむ文庫)

[レベル2] vol.1

絵姿奥さん

2006年10月10日 初版発行

再話：高橋 宗子 (日本語多読研究会会員・日本語教師)

作画：霧生 さなえ

監修：NPO法人 日本語多読研究会

ナレーション：篠原 明美 / 山中 いっとく

録音・編集：スタジオ グラッド

デザイン・DTP：有限会社トライアングル

発行人：天谷 修平

発行：株式会社アスク 出版事業部

〒162-8558 東京都新宿区下宮比町2-6

TEL.03-3267-6866 http://www.ask-digital.co.jp

印刷・製本：株式会社光邦

許可なしに転載・複製することを禁じます。

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

© NPO法人 日本語多読研究会 2006

Printed in Japan ISBN4-87217-625-1



殿様の着物を着た男と、
きれいな奥さんは、
殿様の城で、いつまでも一緒に
楽しく暮らしました。

これは、日本語学習者のための「読みもの」シリーズです。
学習者がレベルに応じて、楽にたくさん読めるように、語彙や文法が制限してあります。

- 初級から中級まで4レベルあり、昔話、創作、名作、伝記など内容もさまざまです。
楽しく読んでもらうために、カラー挿絵が豊富に使われています。
- 漢字には全部ふりがなが付いています。たくさん読むうち自然に漢字の読み方や言葉が身につくでしょう。また、レベル3まではカタカナにもふりがなが付いています。
- 例外的に制限語彙以外の言葉が使われている部分もありますが、その場合は文中で説明したり、挿絵を付けるなどして、理解できるよう工夫されています。
- 朗読CDを聴きながら読んだり、読んだ後で、朗読だけ聴いて楽しむこともできます。
また、シャドーイングをして発音やリスニング力をつけることもできるでしょう。

レベル	能力試験	語彙	字数/1話	主な文法項目
1 初級前半	4級	350	400 ~1500	現在形、過去形、疑問詞、~たい など ※「です・ます体」だけを使っています。
2 初級後半		500	1500 ~2500	辞書形、て形、ない形、た形、 連体修飾、~と(条件)、~から(理由)、 ~なる、~のだ など
3 初中級	3級	800	2500 ~5000	可能形、命令形、受身形、意向形、~とき、 ~たら・ば・なら、~そう(様態)、 ~よう(推量・比喩)、複合動詞 など
4 中級	2級	1300	5000 ~10000	使役形、使役受身形、~そう(伝聞)、~らしい、 ~はず、~もの、~ようにする/なる、 ~ことにする/なる など

※語彙は、『日本語能力試験出題基準「改訂版」』（凡人社）の級別語彙表を参考にレベル分けしています。
※文法項目は、市販されている主な初級のテキストの文法シラバスを調査したり、実際に日本語学習者に載んでもらうなどして、
レベル分けしました。

テキスト名 | 「みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ」スリーエーネットワーク編著 スリーエーネットワーク
| 「新文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ」文化外国語専門学校編著 凡人社
| 「JAPANESE FOR BUSY PEOPLE Ⅰ~Ⅱ」筑波ランゲージグループ著 凡人社
| 「Situational Functional Japanese Ⅰ~Ⅲ」国際日本語普及協会著 講談社インターナショナル
| 「初級日本語 げんきⅠ・Ⅱ」伴野永里、大野裕ほか著 ジャパンタイムズ

Masarykova univerzita Filozofická fakulta, Ústřední knihovna	
Průč.č.	15-9729-08
Sign	
Syst.č.	564741